

# 【千葉地域】平成 29 年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

## 1 展示の概要

設置場所	市原市	品種	夢あおば
土性	壤質土	播種日	4月21日
播種量	240g/箱	移植日	5月12日(疎植)
幼穂形成期	7月1日	出穂期	7月24日
成熟期	9月7日	収穫日	9月25日

## 2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	85cm	穂長	21.7cm
穂数	311本/m <sup>2</sup>	倒伏程度	0
粗玄米重	647kg/10a	標準単収値	512kg/10a

## 3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

### (1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：鶏糞
- ・施用量：500kg/10a
- ・施用時期：平成29年2月

### (2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・(基肥) N量：7.0kg/10a ※肥料銘柄：オール14
  - ・(追肥) N量：1.4kg/10a ※肥料銘柄：オール14
- 追肥実施日：7月6日

### (3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日(5月中旬を推奨)：5月12日

### (4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度(55株/坪を推奨)：39株/坪
- ・植付本数(4~6本/株を推奨)：5.4本/株

## 4 考察等

栽培管理のポイントに基づいた管理の実施によって、疎植においても、高い収量を得ることが出来た。コシヒカリの後に刈れ、立毛乾燥も実施でき、適正がある。

### (参考) 多収品種に必要な施肥量

	夢あおば
基肥 N 量	9 kg/10a (壤質土の場合)
穂肥 N 量	3 kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期(幼穂が1~2mmの時期)に施用します

# 【印旛地域①】平成 29 年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

## 1 展示の概要

設置場所	成田市	品種	べこごのみ
土性	壤質土	播種日	3月11日
播種量	130g/箱	移植日	4月13日
幼穂形成期	6月1日	出穂期	6月25日
成熟期	8月4日	収穫日	8月22日

## 2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	76.2cm	穂長	18.9cm
穂数	317本/m <sup>2</sup>	倒伏程度	0
粗玄米重	450kg/10a	標準単収値	539kg/10a

## 3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

### (1) ほ場の土づくりの実施

・堆肥種類：発酵鶏糞	・施用量：75kg/10a
・施用時期：－	

### (2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

・(基肥) N量：8.4kg/10a	※肥料銘柄：高度化成14
・(追肥) N量：3.3kg/10a	※肥料銘柄：軽量追肥
追肥実施日：6月1日	

### (3) 冷害を避けるための適期の移植

・移植日(5月中旬を推奨)：4月13日
---------------------

### (4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

・栽植密度：52株/坪
・植付本数：3.5本/株

## 4 考察等

冷害による不稔が発生したため、収量が伸びなかった。

### (参考) 多収品種に必要な施肥量

	アキヒカリ	夢あおば
基肥 N 量	4 kg/10a (粘質土の場合) 6 kg/10a (壤質土の場合) 9 kg/10a (砂質土の場合)	6 ~ 7 kg/10a (粘質土の場合) 9 kg/10a (壤質土の場合) 12 kg/10a (砂質土の場合)
穂肥 N 量	3 kg/10a	3 kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期(幼穂が1~2mmの時期)に施用します

# 【印旛地域②】平成 29 年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

## 1 展示の概要

設置場所	成田市	品種	アキヒカリ
土性	壤質土	播種日	3月11日
播種量	130g/箱	移植日	4月13日
幼穂形成期	6月6日	出穂期	7月3日
成熟期	8月4日	収穫日	8月9日

## 2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	76.6cm	穂長	17.7cm
穂数	425本/m <sup>2</sup>	倒伏程度	0
粗玄米重	630kg/10a	標準単収値	539kg/10a

## 3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

### (1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：発酵鶏糞
- ・施用量：75kg/10a
- ・施用時期：－

### (2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・(基肥) N量：8.4kg/10a ※肥料銘柄：高度化成14
  - ・(追肥) N量：3.3kg/10a ※肥料銘柄：軽量追肥
- 追肥実施日：6月1日

### (3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日(5月中旬を推奨)：4月13日

### (4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度(55株/坪を推奨)：51株/坪
- ・植付本数(4～6本/株を推奨)：3.5本/株

## 4 考察等

ばか苗病の発生や、6月下旬の低温による障害型冷害による不稔の発生があったが、栽培管理のポイントに基づいた管理の実施によって、高い収量を得ることができた。

### (参考) 多収品種に必要な施肥量

	アキヒカリ
基肥 N 量	6 kg/10a (壤質土の場合)
穂肥 N 量	3 kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期(幼穂が1～2mmの時期)に施用します

# 【印旛地域③】平成 29 年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

## 1 展示の概要

設置場所	佐倉市	品種	アキヒカリ
土性	壤質土	播種日	4月2日
播種量	150g/箱	移植日	5月2日
幼穂形成期	6月18日	出穂期	7月15日
成熟期	8月24日	収穫日	9月3日

## 2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	81.8cm	穂長	16.8cm
穂数	414本/m <sup>2</sup>	倒伏程度	1.5
粗玄米重	600kg/10a	標準単収値	528kg/10a

## 3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

### (1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：－
- ・施用量：－
- ・施用時期：－

### (2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・(基肥) N量：13.0kg/10a ※肥料銘柄：飼料用米専用一発15
- ・(追肥) N量：－ ※肥料銘柄：－
- 追肥実施日：－

### (3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日(5月中旬を推奨)：5月2日

### (4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度(55株/坪を推奨)：54株/坪
- ・植付本数(4～6本/株を推奨)：3.5本/株

## 4 考察等

紋枯病の発生はあったものの、栽培管理のポイントに基づいた管理の実施によって、高い収量を得ることができた。

### (参考) 多収品種に必要な施肥量

	アキヒカリ
基肥 N 量	6 kg/10a (壤質土の場合)
穂肥 N 量	3 kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期(幼穂が1～2mmの時期)に施用します

# 【印旛地域④】平成 29 年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

## 1 展示の概要

設置場所	印西市	品種	夢あおば
土性	壤粘土	播種日	4月15日
播種量	200g/箱	移植日	5月15日
幼穂形成期	7月5日	出穂期	7月24日
成熟期	9月15日	収穫日	9月22日

## 2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	102.1cm	穂長	19.2cm
穂数	246本/m <sup>2</sup>	倒伏程度	3
粗玄米重	480kg/10a	標準単収値	530kg/10a

## 3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

### (1) ほ場の土づくりの実施

・堆肥種類：－	・施用量：－
・施用時期：－	

### (2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

・(基肥) N量：10.0kg/10a	※肥料銘柄：いっばつ太陽、石灰窒素
・(追肥) N量：4.2kg/10a	※肥料銘柄：硫安
追肥実施日：7月6日	

### (3) 冷害を避けるための適期の移植

・移植日(5月中旬を推奨)：5月15日
---------------------

### (4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

・栽植密度(55株/坪を推奨)：50株/坪
・植付本数(4~6本/株を推奨)：3.1本/株

## 4 考察等

8月の悪天候で登熟が遅れ、登熟不良となり、青未熟粒が多くなった。また、カメムシの被害もあり、登熟歩合が低くなったため、収量が伸びなかった。

### (参考) 多収品種に必要な施肥量

	夢あおば
基肥 N 量	6 ~ 7 kg/10a (粘質土の場合)
穂肥 N 量	3 kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期(幼穂が1~2mmの時期)に施用します

# 【香取地域】平成 29 年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

## 1 展示の概要

設置場所	多古町	品種	アキヒカリ
土性	壤質土	播種日	4月4日
播種量	150g/箱	移植日	5月3日
幼穂形成期	6月14日	出穂期	7月14日
成熟期	8月14日	収穫日	8月19日

## 2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	82cm	穂長	17.2cm
穂数	416本/m <sup>2</sup>	倒伏程度	0.1
粗玄米重	660kg/10a	標準単収値	559kg/10a

## 3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

### (1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：－
- ・施用量：－
- ・施用時期：－

### (2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・(基肥) N量：5.6kg/10a ※肥料銘柄：オール14
  - ・(追肥) N量：2.8kg/10a ※肥料銘柄：オール14
- 追肥実施日：6月8日

### (3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日(5月中旬を推奨)：5月3日

### (4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度(55株/坪を推奨)：61株/坪
- ・植付本数(4～6本/株を推奨)：－

## 4 考察等

一部では一穂粒数の不足や登熟歩合の低下が認められたものの、栽培管理のポイントに基づいた管理の実施によって、高い収量を得ることができた。

### (参考) 多収品種に必要な施肥量

	アキヒカリ
基肥 N 量	6 kg/10a (壤質土の場合)
穂肥 N 量	3 kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期(幼穂が1～2mmの時期)に施用します

# 【海匠地域】平成 29 年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

## 1 展示の概要

設置場所	旭市	品種	アキヒカリ
土性	砂壤土	播種日	3月25日
播種量	114g/箱	移植日	4月26日
幼穂形成期	6月16日	出穂期	7月10日
成熟期	8月21日	収穫日	8月24日

## 2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	71cm	穂長	17.8cm
穂数	305本/m <sup>2</sup>	倒伏程度	0.45
粗玄米重	630kg/10a	標準単収値	568kg/10a

## 3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

### (1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：－
- ・施用量：－
- ・施用時期：－

### (2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・(基肥) N量：6.0kg/10a ※肥料銘柄：ちばみどり444
  - ・(追肥) N量：3.0kg/10a ※肥料銘柄：尿素
- 追肥実施日：4月26日

### (3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日(5月中旬を推奨)：4月26日

### (4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度(55株/坪を推奨)：54株/坪
- ・植付本数(4～6本/株を推奨)：－

## 4 考察等

スズメの食害による被害はあったものの、栽培管理のポイントに基づいた管理の実施によって、高い収量を得ることができた。

### (参考) 多収品種に必要な施肥量

	アキヒカリ
基肥 N 量	9 kg/10a (砂質土の場合)
穂肥 N 量	3 kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期(幼穂が1～2mmの時期)に施用します

# 【山武地域①】平成 29 年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

## 1 展示の概要

設置場所	山武市	品種	夢あおば
土性	砂壤土	播種日	4月10日
播種量	160g/箱	移植日	5月14日
幼穂形成期	6月26日	出穂期	7月21日
成熟期	9月14日	収穫日	9月19日

## 2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	80.8cm	穂長	20.3cm
穂数	306本/m <sup>2</sup>	倒伏程度	2.2
粗玄米重	704kg/10a	標準単収値	553kg/10a

## 3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

### (1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：－
- ・施用量：－
- ・施用時期：－

### (2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・(基肥) N量：9.9kg/10a ※肥料銘柄：一発太陽
- ・(追肥) N量：2.9kg/10a ※肥料銘柄：サンライトNKV1  
追肥実施日：7月7日

### (3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日(5月中旬を推奨)：5月14日

### (4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度(55株/坪を推奨)：51株/坪
- ・植付本数(4～6本/株を推奨)：5.6本/株

## 4 考察等

栽培管理のポイントに基づいた管理の実施によって、高い収量を得ることができた。

### (参考) 多収品種に必要な施肥量

	夢あおば
基肥 N 量	12 kg/10a (砂質土の場合)
穂肥 N 量	3 kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期(幼穂が1～2mmの時期)に施用します



# 【山武地域②】平成 29 年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

## 1 展示の概要

設置場所	山武市	品種	アキヒカリ
土性	壤質砂土	播種日	4月2日
播種量	160g/箱	移植日	4月26日
幼穂形成期	6月13日	出穂期	7月8日
成熟期	8月10日	収穫日	8月19日

## 2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	71.6cm	穂長	26cm
穂数	497本/m <sup>2</sup>	倒伏程度	2.1
粗玄米重	697kg/10a	標準単収値	553kg/10a

## 3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

### (1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：－
- ・施用量：－
- ・施用時期：－

### (2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・(基肥) N量：9.9kg/10a ※肥料銘柄：一発太陽
  - ・(追肥) N量：2.9kg/10a ※肥料銘柄：サンライトNKV1
- 追肥実施日：6月14日

### (3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日(5月中旬を推奨)：4月26日

### (4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度(55株/坪を推奨)：52株/坪
- ・植付本数(4～6本/株を推奨)：5.8本/株

## 4 考察等

栽培管理のポイントに基づいた管理の実施によって、高い収量を得ることができた。

### (参考) 多収品種に必要な施肥量

	アキヒカリ
基肥 N 量	9 kg/10a (砂質土の場合)
穂肥 N 量	3 kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期(幼穂が1～2mmの時期)に施用します

# 【長生地域】平成 29 年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

## 1 展示の概要

設置場所	一宮町	品種	アキヒカリ
土性	砂壤土	播種日	5月6日
播種量	150g/箱	移植日	6月1日
幼穂形成期	7月6日	出穂期	7月31日
成熟期	9月5日	収穫日	9月12日

## 2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	96.7cm	穂長	18.5cm
穂数	472本/m <sup>2</sup>	倒伏程度	2.5
粗玄米重	650kg/10a	標準単収値	540kg/10a

## 3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

### (1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：－
- ・施用量：－
- ・施用時期：－

### (2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・(基肥) N量：8.8kg/10a ※肥料銘柄：軽量ふさこがね一発15
- ・(追肥) N量：－ ※肥料銘柄：－
- 追肥実施日：－

### (3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日(5月中旬を推奨)：6月1日

### (4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度(55株/坪を推奨)：60株/坪
- ・植付本数(4～6本/株を推奨)：5本/株

## 4 考察等

育苗の際に病害が発生し、育苗をしなおしたため、播種時期が予定よりも遅くなったが、栽培管理のポイントに基づいた管理の実施によって、高い収量を得ることができた。

### (参考) 多収品種に必要な施肥量

	アキヒカリ
基肥 N 量	9 kg/10a (砂質土の場合)
穂肥 N 量	3 kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期(幼穂が1～2mmの時期)に施用します

# 【夷隅地域】平成 29 年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

## 1 展示の概要

設置場所	いすみ市	品種	アキヒカリ
土性	粘質土	播種日	4月3日
播種量	150g/箱	移植日	5月3日
幼穂形成期	6月23日	出穂期	7月20日
成熟期	8月25日	収穫日	8月26日

## 2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	98cm	穂長	19.9cm
穂数	278本/m <sup>2</sup>	倒伏程度	0
粗玄米重	592kg/10a	標準単収値	523kg/10a

## 3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

### (1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：－
- ・施用量：－
- ・施用時期：－

### (2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・(基肥) N量：8.4kg/10a ※肥料銘柄：オール14
- ・(追肥) N量：－ ※肥料銘柄：－
- 追肥実施日：－

### (3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日(5月中旬を推奨)：5月3日

### (4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度(55株/坪を推奨)：52株/坪
- ・植付本数(4～6本/株を推奨)：4本/株

## 4 考察等

多肥として栽培したが、倒伏することなく、栽培管理のポイントに基づいた管理の実施によって、高い収量を得ることができた。

### (参考) 多収品種に必要な施肥量

	アキヒカリ
基肥 N 量	4 kg/10a (粘質土の場合)
穂肥 N 量	3 kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期(幼穂が1～2mmの時期)に施用します

# 【安房地域】平成 29 年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

## 1 展示の概要

設置場所	南房総市	品種	夢あおば
土性	壤土	播種日	4月28日
播種量	170g/箱	移植日	5月17日
幼穂形成期	7月7日	出穂期	7月30日
成熟期	—	収穫日	9月28日

## 2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	98cm	穂長	22.2cm
穂数	285本/m <sup>2</sup>	倒伏程度	4
粗玄米重	590kg/10a	標準単収値	495kg/10a

## 3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

### (1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：—
- ・施用量：—
- ・施用時期：—

### (2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・(基肥) N量：4.2kg/10a ※肥料銘柄：くみあい複合燐加安
- ・(追肥) N量：4.6kg/10a、3.2kg/10a ※肥料銘柄：尿素  
追肥実施日：6月17日、7月17日

### (3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日(5月中旬を推奨)：5月17日

### (4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度(55株/坪を推奨)：62株/坪
- ・植付本数(4~6本/株を推奨)：2本/株

## 4 考察等

欠株や雨等による倒伏が発生し、収量が伸びなかった。

### (参考) 多収品種に必要な施肥量

	夢あおば
基肥 N 量	9 kg/10a (壤質土の場合)
穂肥 N 量	3 kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期(幼穂が1~2mmの時期)に施用します

# 【君津地域①】平成 29 年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

## 1 展示の概要

設置場所	木更津市	品種	アキヒカリ
土性	砂土	播種日	3月19日
播種量	160g/箱	移植日	4月24日
幼穂形成期	6月10日	出穂期	7月6日
成熟期	8月17日	収穫日	8月22日

## 2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	78cm	穂長	18.9cm
穂数	554本/m <sup>2</sup>	倒伏程度	1.5
粗玄米重	630kg/10a	標準単収値	524kg/10a

## 3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

### (1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：－
- ・施用量：－
- ・施用時期：－

### (2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・(基肥) N量：13.5kg/10a ※肥料銘柄：飼料用米専用一発15
- ・(追肥) N量：－ ※肥料銘柄：－
- 追肥実施日：－

### (3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日(5月中旬を推奨)：4月24日

### (4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度(55株/坪を推奨)：53株/坪
- ・植付本数(4～6本/株を推奨)：6.7本/株

## 4 考察等

倒伏も発生せず、栽培管理のポイントに基づいた管理の実施によって、高い収量を得ることができた。

### (参考) 多収品種に必要な施肥量

	アキヒカリ
基肥 N 量	9 kg/10a (砂質土の場合)
穂肥 N 量	3 kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期(幼穂が1～2mmの時期)に施用します

# 【君津地域②】平成 29 年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

## 1 展示の概要

設置場所	木更津市	品種	アキヒカリ
土性	砂土	播種日	3月19日
播種量	160g/箱	移植日	4月24日
幼穂形成期	6月12日	出穂期	7月7日
成熟期	8月21日	収穫日	8月22日

## 2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	77cm	穂長	19.6cm
穂数	515本/m <sup>2</sup>	倒伏程度	1.5
粗玄米重	630kg/10a	標準単収値	524kg/10a

## 3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

### (1) ほ場の土づくりの実施

・堆肥種類：牛糞堆肥	・施用量：2,000kg/10a
・施用時期：平成28年9月	

### (2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

・(基肥) N量：3.9kg/10a	※肥料銘柄：飼料用米専用一発15
・(追肥) N量：－	※肥料銘柄：－
追肥実施日：－	

### (3) 冷害を避けるための適期の移植

・移植日(5月中旬を推奨)：4月24日
---------------------

### (4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

・栽植密度(55株/坪を推奨)：52株/坪
・植付本数(4~6本/株を推奨)：6.3本/株

## 4 考察等

牛糞堆肥による土づくりと、レタス栽培後のほ場での実証を行った。やや生育のばらつきがあったものの、栽培管理のポイントに基づいた管理の実施によって、高い収量を得ることができた。

### (参考) 多収品種に必要な施肥量

	アキヒカリ	夢あおば
基肥 N 量	4 kg/10a (粘質土の場合) 6 kg/10a (壤質土の場合) 9 kg/10a (砂質土の場合)	6 ~ 7 kg/10a (粘質土の場合) 9 kg/10a (壤質土の場合) 12 kg/10a (砂質土の場合)
穂肥 N 量	3 kg/10a	3 kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期(幼穂が1~2mmの時期)に施用します